

週間漁海況情報—第2号

平成24年1月16日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/taffts/sc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

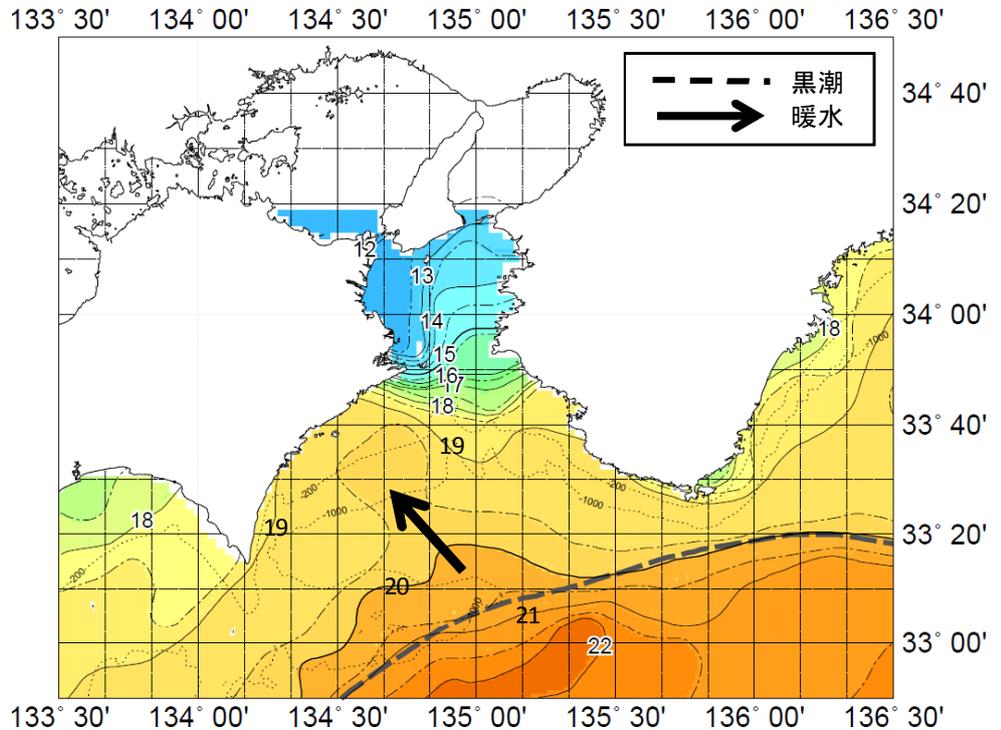
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図(H24.1.16)を示した。

黒潮は、潮岬沖で接岸、土佐湾沖から紀伊水道外域で小蛇行の一部が東進している。小蛇行の東端が室戸岬沖を通過中であるため、室戸岬沖でやや離岸している。

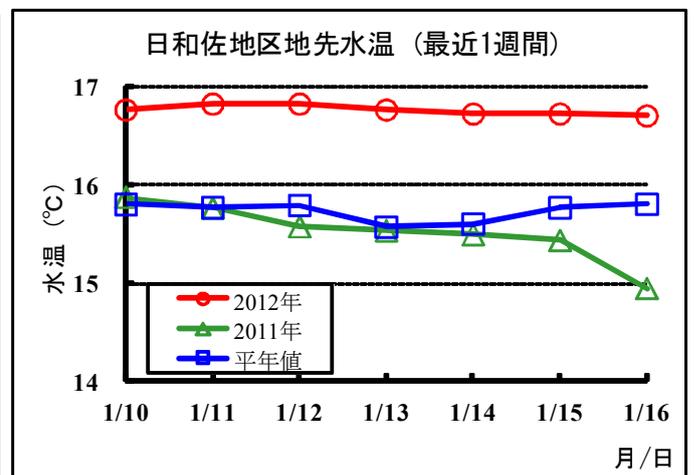
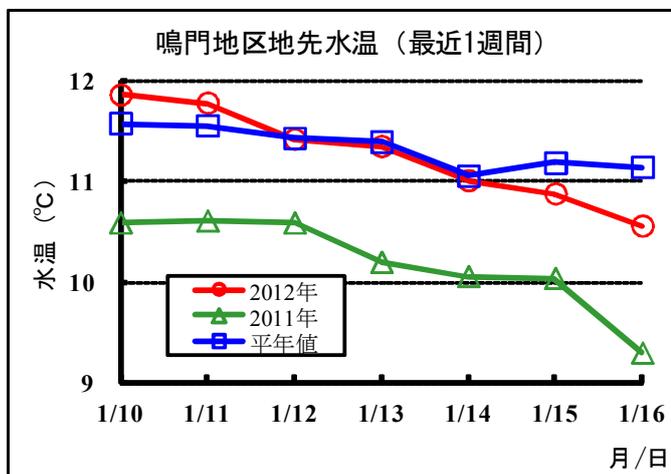
黒潮本流の表面水温は、20～22℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で10～11℃台、紀伊水道で11～15℃台、海部沿岸で14～19℃台である。

紀伊水道外域では、室戸岬と潮岬の中央付近から海部沿岸に向け暖水流入がある。このため、海部沿岸上灘から下灘は、黒潮系暖水に覆われ18～19℃台になっている。また、海部沿岸では、上り潮になっている。

内海系水と外海系水の潮境は、蒲生田岬から和歌山県日ノ御埼にかけて確認できる。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「平年並み」の10.6～11.9℃、日和佐地区で「やや高め」の16.7～16.8℃、牟岐地区は「高め」の16.9～17.7℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み: ±0.49以下, やや高め(やや低め): ±0.50～1.49, 高め(低め): ±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め): ±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で中主体にアマダイが0.3トン（1日1隻当たり8kg）、大主体にサバフグが1.1トン（同33kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で小主体にアイゴが0.3トン（同40kg）、アオリイカが1.3トン（同30kg）、カタクチイワシが0.9トン（同35kg）、マルソウダが0.3トン（同9kg）、メジナが1.0トン（同61kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で小小主体にシイラが0.6トン（同60kg）、大主体にヒラソウダが0.6トン（同62kg）、小主体にマサバが0.5トン（同51kg）、マルソウダが0.9トン（同89kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で大主体にアオリイカが0.8トン（同11kg）、大・小主体にゴマサバが0.3トン（同11kg）、中主体にマサバが0.3トン（同12kg）、マダイが0.6トン（同31kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 1月9日～1月15日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	32	270	8	中主体
		サバフグ	33	1,095	33	大主体
小型定置網		アイゴ	7	281	40	小主体
		アオリイカ	43	1,288	30	
		カタクチイワシ	26	918	35	
		マルソウダ	35	319	9	
		メジナ	17	1,036	61	
		大型定置網	シイラ	10	595	60
ヒラソウダ			10	617	62	大主体
マサバ			10	508	51	小主体
マルソウダ			10	892	89	
釣り		アオリイカ	69	769	11	大主体
		ゴマサバ	26	284	11	大・小主体
		マサバ	28	349	12	中主体
	マダイ	21	644	31		

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。海部沿岸では、引き続き黒潮系暖水の影響を受ける見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の10℃台、日和佐地先は「やや高め」の16℃台で推移する見込み。

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年1月10～16日の海部沿岸では、延縄で大主体にアマダイが0.3トン、カワハギが0.7トン、サバフグが0.5トン、小型定置網で大主体にアオリイカが1.5トン、小主体にマアジが0.3トン、小主体にマルアジが0.3トン、メジナが0.5トン、大型定置網で大主体にアオリイカが0.3トン、大主体にカワハギが0.3トン、中主体にカンパチが0.5トン、大主体にスルメイカが0.9トン、中主体にヒラソウダが0.4トン、釣りで大・中主体にアオリイカが1.2トン、タチウオが0.5トン水揚げされていた。